



クラウドクレジット株式会社

2022年5月18日

北欧個人向けローンファンド（全号共通）

【為替ヘッジあり】北欧個人向けローンファンド（全号共通）

2022年4月期（2022年4月1日～4月30日）の運用状況及び分配について

平素よりお世話になっております。北欧個人向けローンファンドおよび【為替ヘッジあり】北欧個人向けローンファンド（以下「本ファンド」といいます。）にご投資いただき、ありがとうございます。足元におきましても2016年12月期にご報告申し上げた運用環境が継続しておりますので、ご案内申し上げます。また、ファンド全体の分配額についても併せてご連絡させていただきます。

【運用環境について】

本ファンドは Fellow Finance Oyj（以下、「Fellow 社」といいます。）が運営する P2P レンディングマーケットプレイス（以下、「Fellow 社 P2P」といいます。）を通じてフィンランドの個人向けローンに投資するファンドとしてクラウドクレジット株式会社（以下、「本営業者」といいます。）が運用を開始しました。しかし、2021年12月期において、本営業者のエストニア子会社である Crowdcredit Estonia OÜ（以下、「エストニアグループ会社」といいます。）が Fellow 社 P2P で購入したローンをすべて Fellow 社へ売却しましたので、2022年1月期以降の運用対象は Bondora AS が運営する P2P レンディングマーケットプレイス（以下、「Bondora 社 P2P」といいます。）を通じて購入したローンのみとなります。

【Bondora 社 P2P への参画時期と参画の経緯について】

本ファンドは2016年7月より Bondora 社 P2P を通じたエストニア・フィンランド・スペインの個人向けローンの購入を開始しました。その背景には、本ファンドの運用開始後に本営業者以外の投資家が Fellow 社 P2P へ多数参入したことがあります。流入資金の増加によって Fellow 社 P2P の金利水準が低下するとともに債務者の借換えが生じ、一方では債務者の質が低下して貸付期間が長期化しました。その結果、本ファンドの投資対象とできる個人向けローン案件を Fellow 社 P2P 上で探すことが難しくなったため Bondora 社 P2P を通じた購入を開始しました。

しかしながら、さらにその後で Bondora 社 P2P への資金流入が増加し、Fellow 社 P2P と同様に利回りの低下と貸付期間の長期化が生じました。

【本営業者の対応】

本ファンドが投資対象とするローン市場における利率低下、および長期化を伴う借換えの増加の影響を受け、本ファンドは利息収入の低下と滞留資金の増加が避けられない状況です。そこで本ファンドでは設定当初に見込んでいた利息収入を受け取ることができなくなったため、配当可能な現金財産を各号ごとに按分処理したうえで、投資家様に分配することといたしました。具体的な今後の分配方法としては、現在ファンドが保有している現金財産と今後貸付債権から回収が見込まれる将来キャッシュフロー（契約上の金額ではなく、遅延、延滞等の影響を考慮した本営業者の推算値）から得られる収入をもとに、各号のユーロ貨による最終的な投資倍率が可能な限り等しくなるように按分比率を決めさせていただいております。その按分比率に応じて、毎月分配可能な現金を按分し分配しております。将来キャッシュフローに関しては毎月の分配時に精査し按分比率もその都度調整いたします。

なお、各号ごとに分配を行った後で、エストニアグループ会社の預金口座に現金財産が残る場合には、翌月期以降の分配に備えて一旦留保し、漸次、按分可能額へ振り分けております¹。そして各号の出資金をすべて返還したのちに財産が残ることが見込める場合、利息の分配を行います。

また、5号、6号およびヘッジあり1号、2号、3号、4号につきましては、出資金を全額返還できるめどが立ったため元本の優先的な返済およびそれに相当する出資金の返還を中断し、利息の返済に相当する利益の分配を行いましたが、これまで収受できず累積した運用手数料分を控除したため、2022年4月期におきましては匿名組合出資に対する返済原資はございませんでした。

(¹「2022年4月期分配時点(ファンド全体)」(後掲)の「翌月期以降の分配に持越す額」が該当するほか、別途留保金がある場合には同表等で表示いたします。)

2022年4月期の本ファンド全体の分配額の決定に関しましては以下の計算をご参照ください。

2022年4月期分配時点(ファンド全体)

現金	€ 91.71	・・・ 当月期分配時の現金残高
-) 当月期分配額	€ 91.70	・・・ 当月期の分配可能原資総額 ※
差額	€ 0.01	・・・ 翌月期以降の分配に持越す額
前月期分配後のローン残高	€ 3,820.41	
-) 当月期分配後のローン残高	€ 3,806.91	
差額	€ 13.50	・・・ 当月期のローン残高減少額

※将来のキャッシュフローを想定し当社が計算した分配可能原資額

【今後の見通し】

本ファンドはこれまで、投資可能な現金資金が滞留している場合に、投資対象たりうるローンの期間及びクレジットレーティングの新規ローン案件に再投資を行って利息収入を最大化するよう努めてま

いりました。

本ファンドはいずれも当初に予定した運用期間を超過しておりますので、再投資としてのローン購入を行いません。その一方で購入済みのローン案件においては、まとまった早期償還が発生し利息収入が期待を下回ったことと、その後に残存するローンでは延滞が継続していることによって、当初予定した利息収入を満額獲得することが困難な状況にあります。換言すると、ユーロ建てでの運用利回りが当初の期待利回りに対して低下することを避けられない状況にあります。もちろん、今後の遅延、未払い元本及び利息の発生頻度によって最終的な実現利回りは上下いたします。

なお、分配金はユーロを円貨に転換しファンドごとの分配スケジュールに従いお支払いいたします。（この際、出資金の返還に為替差益が発生し、かつその金額がそれまでに発生した累計の為替差損分を超えていた場合には、利益として認識されますので源泉徴収税が控除されます。）分配額の詳細は分配金レポート（本営業者サイト上のマイページに掲載いたしております。）をご確認いただければ幸いです。

【エストニアグループ会社からの日本への送金方法の変更について】

2020年1月期の運用レポートでご報告申し上げた通り、エストニア当局の規制強化に伴いAML/CFT（マネーロンダリング防止およびテロ資金供与対策）に関わる現地銀行の内部方針の変更の一環としてエストニア国外との資金決済を多く行う法人の銀行口座が閉鎖され、エストニアグループ会社の銀行口座も閉鎖の対象となりました。

本営業者グループは対応策として現地規制当局から免許登録を受けた金融サービス会社にファンド資金の本邦への送金を行うための口座を開設し、2020年4月期以降はエストニアグループ会社から滞りなく返済を受けられています。なお分配金は送金等にかかるコストが控除されたものになります。

今後とも本営業者業務に対するご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要（クラウドクレジット株式会社）

【代表者】 杉山智行

【設立年月】 2013年1月

【資本金等】 3,148,886千円

【URL】 <https://crowdcredit.jp/>

第二種金融商品取引業

関東財務局長(金商)第2809号

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 加入